

平成29年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 行計対象

事務事業名 (中事業)	26895 ごみ減量化推進事業			
基本政策	06 持続可能な循環型社会を築き、人と自然が共生するまち			
政策	01 環境にやさしい資源循環型社会			
施策	01 ごみ減量化と適正処理の推進			
実施形態	直営			
事業期間	単年度	平成28年度～		
要求区分	新規	予算区分	政策	
事業の実施を市に義務づける国の法令				
有無	なし			
法令名 条項				
予算科目	01-040201-030100			
部名	24 暮らし安心部	課名	04 環境課	
課長名	西村幸浩	T E L	0795-22-3111	内線 393

2. 対象・目的・内容

事業概要	北播磨清掃事務組合に搬入される家庭からのごみ重量のうち、約30%は生ごみである。その生ごみのうち大半は水分であり、その水分を減らすことで、ごみの減量につながる。そこで、生ごみの水分を切る用具を配布する。
事業の対象 (誰・何を)	市民（ごみ分別説明会参加者、保健衛生推進委員、花と緑の協会員、エコネットにしわき会員、市民かんきょう大学学生他）
事業の目的 (どういう状態にするために)	<ul style="list-style-type: none"> ・北播磨清掃事務組合に搬入される家庭からの生ごみを減らすため。 ・水切りを通じ、ごみに関心を持ってもらうため。 ・北播磨清掃事務組合に支払っている負担金の軽減のため。
事業の内容 (どういう内容を行うのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に生ごみの水切り用具「水切りダイエット」を1,600個配布する。 ・配布者にはアンケート調査を実施。

3. 年度別事業費

(単位：千円)

	事業費							
	国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源	
平成26年度決算額	0	-	-	-	-	-	-	-
平成27年度決算額	0	-	-	-	-	-	-	-
平成28年度決算額	329	0	0	0	0	0	329	0
平成29年度予算額	421	0	0	0	0	0	421	0

4. 総コストの概算

(単位：千円)

平成28年度のこの事業に従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	平成28年度決算額(B)	総コスト (A) + (B)
一般職員	嘱託・臨時職員				
0.10	0.00	0.10	780	329	1,109
事業費の主な用途		消耗品費(水切り用具「水切りダイエット」1,600個購入)			

平成29年度 当初予算事業の概要説明書

(兼評価説明書)

5. 事業の実績・目標

活動 指標 ①	指標名	配布個数				単位	個
	説明や数式	市民に配布した個数					
	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	目標値			707			
	実績値		893				
	経費(千円) 単位当たりのコスト		1,109				
			1.24				
活動 指標 ②	指標名	配布機会				単位	回
	説明や数式	市民に配布した機会					
	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	目標値			50			
	実績値		15				
	経費(千円) 単位当たりのコスト		1,109				
			73.93				
成果 指標 ①	指標名	生ごみの水切りに今後も取り組む人の割合				単位	%
	説明や数式	使用者からのアンケート結果から分析					
	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	目標値			90			
	実績値		92.6				
	経費(千円) 単位当たりのコスト		1,109				
			11.98				
成果 指標 ②	指標名	生活系可燃ごみ量				単位	トン
	説明や数式	北播磨清掃事務組合が定期収集する西脇市の生活系可燃ごみ量 (平成27年度 6,221トン)					
	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	目標値			6,050	6,042		
	実績値		6,091				
	経費(千円) 単位当たりのコスト		1,109				
			0.18				
実績・成果 等の説明	<p>ごみ分別説明会(10会場、501人)、保健衛生推進委員会総会(1回、111人)、花と緑の協会総会(1回、92人)、エコネット西脇総会(1回、27人)、市民かんきょう大学(1回、34人)、環境課窓口(128人)。 ごみ分別説明会及び環境課窓口で配布した市民のうち、54人からアンケートの回答が寄せられた。 水切りダイエットを使う前から水切りを「いつもしていた」「ときどきしていた」人の割合は88.9%。今回水切りダイエットを使用したことにより、「今後も水切りに取り組む」人の割合は92.6%。3.7ポイントの増。</p>						

6. 評価

1 次 評 価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	2	実施主体の妥当性	5
		直接のサービスの相手方	4	受益者負担の適切さ	5	市民ニーズの把握	3
	事業の総合評価	拡充					
説明	新ごみ処理施設の整備に向け、「燃やすから生かす」「ごみは資源」の考えのもと、ごみの減量化及び資源化に取り組んでいる。環境をキーワードとしたまちづくりのためにも、水切りダイエットの購入によるごみ減量化に関わらず、様々な方で事業を進める必要がある。						
2 次 評 価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	3	事業の必要性	2	実施主体の妥当性	4
		直接のサービスの相手方	5	受益者負担の適切さ	2	市民ニーズの把握	3
	事業の総合評価	継続実施					
説明	水切りダイエットを活用したごみの減量化は、財政面、環境面において大切な取組と考える。水切りやその他のごみの減量化については市内で行われている行事やごみの説明会、また、広報等において啓発活動が行われているが、継続実施することにより市民の方に今後も取り組んでいただけるよう積極的な啓発活動をお願いしたい。また、水切りの取組は西脇市内だけとなっているため、今後は北播磨清掃事務組合の収集範囲の市町にも広め、より効果的なごみの減量に取り組まれない。						